

相模原商工会議所
平成29年度第2四半期(平成29年7～9月)
景気観測調査(郵送)および経済動向調査結果(訪問)集計結果

業況感は悪化傾向にあるも、第3四半期は全体的に良化の見通し

今回の全産業総合DI値は▲34、業種別では、製造業が▲23、建設業は▲26、小売業・卸売業▲53)、飲食業・サービス業▲29と、全体的に昨年同期比で悪化傾向にありました。

次期(第3四半期)はDI値が製造業で17(今期比+40)の見通しになるなど、全業種で今期と比べて改善の傾向を示しました。詳細は以下のとおりです。

【景気観測調査(H29.7～H29.9)】

【調査期間】 H29. 9. 1～H29. 9. 29

【調査方法】 当所会員中小企業500社にアンケート用紙を郵送し、返送分を集計。

【調査対象及び回収状況は下表のとおり】

業種	送付数	回収数	回収率(%)
製造業	96	37	38.5%
建設業	88	23	26.1%
小売業 卸売業	122	25	20.5%
飲食業 サービス業	194	51	26.3%
業種合計	500	136	27.2%






【経済動向調査(H29.7～H29.9)】

【調査期間】 H29. 07. 10～H29. 08. 07

【調査方法】 小規模事業者170社に訪問し、アンケートを実施・集計。

業種	巡回・回収数
製造業	29
建設業	20
小売業 卸売業	58
飲食業 サービス業	63
業種合計	170






【業況天気図凡例】

快晴 DI値31以上		晴れ DI値30～11		薄曇り DI値10～▲10		小雨 DI値▲11～▲30		雨 DI値▲31以下	
---------------	---	----------------	---	------------------	--	------------------	---	---------------	---

- DI(デフュージョン・インデックス)値=(増加・好転の回答割合)-(減少・悪化の回答割合)
- DI値は、ゼロを基準としてプラス値で景気の上向き傾向を現わす回答の割合が多いことを示し、マイナス値で景気の下向き傾向を現わす回答の割合が多いことを示します。従って売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりという意味するものです






【表① 今期業況天気図】

期間:H29.7～H29.9(売上・採算・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	▲ 29	▲ 14	▲ 21	▲ 47	▲ 28
採算	▲ 35	▲ 17	▲ 26	▲ 54	▲ 34
資金繰り	▲ 6	▲ 3	▲ 7	▲ 11	▲ 4
従業員	16	14	28	6	19
今期業況 (総合判断)	▲ 34	▲ 23	▲ 26	▲ 53	▲ 29
今期業況 天気図					

【表② 次期見通し業況天気図】

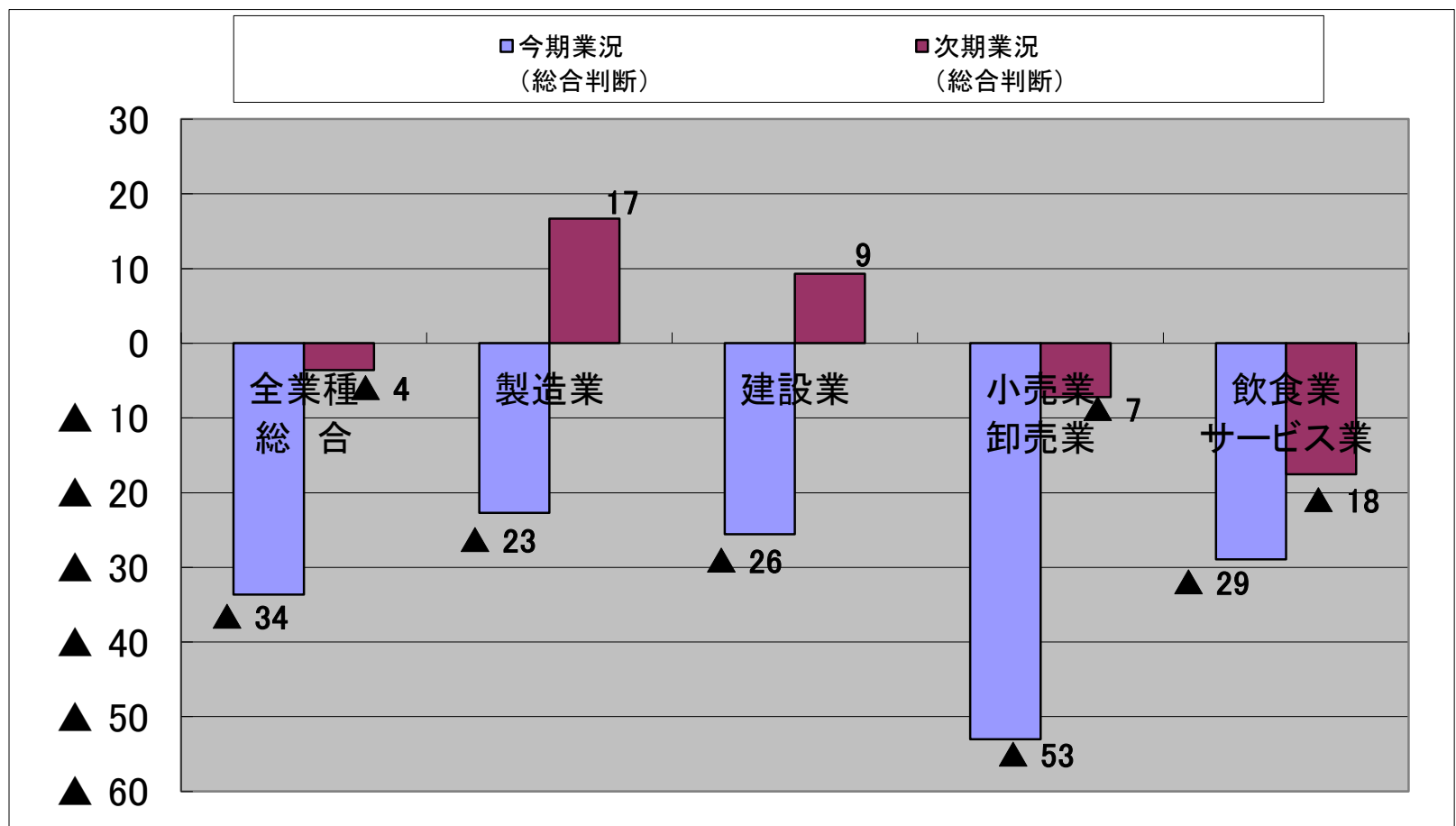
期間:H29.10～H29.12(売上・採算・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

	全業種 総合	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業
売上	0	21	9	▲ 8	▲ 9
採算	▲ 5	15	14	▲ 13	▲ 18
資金繰り	▲ 6	▲ 6	7	▲ 11	▲ 6
従業員	15	15	26	6	17
次期業況 (総合判断)	▲ 4	17	9	▲ 7	▲ 18
次期業況 天気図					

【表③ 経営上の問題点】(複数回答 3つまで)

	製造業	建設業	小売業 卸売業	飲食業 サービス業	計
サンプル数	66	43	83	114	306
1. 売上不振	15	8	31	28	82
2. 受注単価・販売価格の低下	18	6	20	10	54
3. 収益率の低下	8	7	6	14	35
4. 個人消費の低迷	1	2	23	18	44
5. 販売先の減少	22	4	15	12	53
6. 大型店の進出	9	1	3	2	15
7. チェーン店等との競争激化	2	1	4	14	21
8. 公共工事の減少	1	9	0	0	10
9. 民間工事の減少	1	7	2	1	11
10. 仕入単価の上昇	24	4	30	17	75
11. 円安の影響	0	2	4	3	9
12. 円高の影響	1	0	2	0	3
13. 代金回収困難	0	2	0	2	4
14. 諸経費の増加	7	9	7	12	35
15. 従業員が過剰	0	0	0	0	0
16. 従業員が不足	18	16	4	20	58
17. 設備不足・老朽化	6	1	7	9	23
18. 特になし	9	3	12	25	49
19. その他	1	1	1	14	17
計	143	83	171	201	598

【表④ DI値の分布】



【 景気観測調査集計表 】

			今期(H29. 7～H29. 9)				次期見通し(H29. 10～H29. 12)			
			増加・好転	不変	減少・悪化	合計/DI値	増加・好転	不変	減少・悪化	合計/DI値
製造業	売上	サンプル数	18	21	27	66	27	26	13	66
		構成比	27	32	41	▲ 14	41	39	20	21
	採算	サンプル数	12	31	23	66	21	34	11	66
		構成比	18	47	35	▲ 17	32	52	17	15
	資金繰り	サンプル数	5	54	7	66	2	58	6	66
		構成比	8	82	11	▲ 3	3	88	9	▲ 6
	従業員	サンプル数	11	53	2	66	11	54	1	66
		構成比	17	80	3	14	17	82	2	15
業況	サンプル数	10	31	25	66	22	33	11	66	
	構成比	15	47	38	▲ 23	33	50	17	17	
建設業	売上	サンプル数	10	14	19	43	12	23	8	43
		構成比	23	33	44	▲ 21	28	53	19	9
	採算	サンプル数	7	18	18	43	12	25	6	43
		構成比	16	42	42	▲ 26	28	58	14	14
	資金繰り	サンプル数	4	32	7	43	4	38	1	43
		構成比	9	74	16	▲ 7	9	88	2	7
	従業員	サンプル数	13	29	1	43	11	32	0	43
		構成比	30	67	2	28	26	74	0	26
業況	サンプル数	6	20	17	43	11	25	7	43	
	構成比	14	47	40	▲ 26	26	58	16	9	
小売業・卸売業	売上	サンプル数	11	22	50	83	26	24	33	83
		構成比	13	27	60	▲ 47	31	29	40	▲ 8
	採算	サンプル数	6	26	51	83	22	28	33	83
		構成比	7	31	61	▲ 54	27	34	40	▲ 13
	資金繰り	サンプル数	2	70	11	83	2	70	11	83
		構成比	2	84	13	▲ 11	2	84	13	▲ 11
	従業員	サンプル数	6	76	1	83	5	78	0	83
		構成比	7	92	1	6	6	94	0	6
業況	サンプル数	7	25	51	83	26	25	32	83	
	構成比	8	30	61	▲ 53	31	30	39	▲ 7	
飲食業・サービス業	売上	サンプル数	22	38	54	114	22	60	32	114
		構成比	19	33	47	▲ 28	19	53	28	▲ 9
	採算	サンプル数	13	49	52	114	15	63	36	114
		構成比	11	43	46	▲ 34	13	55	32	▲ 18
	資金繰り	サンプル数	6	97	11	114	6	95	13	114
		構成比	5	85	10	▲ 4	5	83	11	▲ 6
	従業員	サンプル数	23	90	1	114	20	93	1	114
		構成比	20	79	1	19	18	82	1	17
業況	サンプル数	15	51	48	114	16	62	36	114	
	構成比	13	45	42	▲ 29	14	54	32	▲ 18	
全業種総合	売上	サンプル数	61	95	150	306	87	133	86	306
		構成比	20	31	49	▲ 29	28	43	28	0
	採算	サンプル数	38	124	144	306	70	150	86	306
		構成比	12	41	47	▲ 35	23	49	28	▲ 5
	資金繰り	サンプル数	17	253	36	306	14	261	31	306
		構成比	6	83	12	▲ 6	5	85	10	▲ 6
	従業員	サンプル数	53	248	5	306	47	257	2	306
		構成比	17	81	2	16	15	84	1	15
業況	サンプル数	38	127	141	306	75	145	86	306	
	構成比	12	42	46	▲ 34	25	47	28	▲ 4	